

平成 25 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野検定
事業主体 (連絡先)	安曇野市 (安曇野市教育委員会 社会教育課 TEL : 0263-62-4565)
事業区分	(7) 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,183,743 円 (うち支援金 : 2,387,000 円)

事業内容

合併に伴い市民の一体感の醸成を図ることを目的に平成 23 年度から検定を実施し、今年で 3 回目を迎える。今年度は、安曇野市の歴史や文化、産業、観光、自然など幅広い分野の総合編の試験を実施。検定に向けて 7 月から 10 月にかけて全 10 回の検定準備講座を開催した。今年度は、旧 5 町村の町村誌と検定準備講座の講義内容から検定学習資料を作成し、受検申込者に配布した。1 月 26 日に市内 3 ヶ所で検定を実施し、159 人が受検。2 月上旬には 2 ヶ所の小学校で児童 119 人が受検した。合格者には合格証、合格バッジと市立の博物館、美術館等に無料で入館できる認定カードを交付した。

また、検定合格者を中心とした自主活動グループの立ち明けにむけて、関係者による検討会議を開催した。



【検定準備講座の受講する市民】

※ 1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

検定準備講座 1 回あたりの平均受講者数は前年度より 1.3 倍増加した。また、検定学習資料を作成したことにより学習しやすくなり、一般の部の検定受検者数は 148 人と過去最多となった。また、例年に比べると 20 ~ 30 代の受検者が増え、若い世代にも関心を持つてもらえることができた。学習資料は、町村合併の歴史からインフラ整備、産業の発展、文化財など安曇野市のことを広く学べると大変好評で、検定講座に参加できなかった市民にも幅広く学習する機会を提供できた。

【目標・ねらい】

- 市民の一体感の醸成
- 学習の成果を地域に還元
- 市民の郷土愛を育む
- 地域の仲間づくり

※ 2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

安曇野検定は、当初 3 年計画で実施してきたが、今後も継続してほしいという市民からの要望を受けて、平成 26 年度も継続を予定している。検定準備講座の受講者数は年々増えており、市民の安曇野市のことを知りたいというニーズが高まっている。26 年度は、市内の NPO 団体などと連携して講座や検定を企画し、市民参加型の安曇野検定を目指す。

また、25 年度に作成した一般用検定学習資料をリニューアルして発行し、検定を受験するしなくてもかかわらず、誰もが楽しく安曇野市のことを学べるよう学習資料の普及を図る。

検定実施と並行して、過去 3 年間の検定合格者による自主的な学習グループを立ち上げ、更に詳しい知識を身につけるための学習の機会を設ける。活動の中で仲間づくりを推進するとともに観光ガイドや講座講師、地域の語りべなど地域づくりの担い手となる人材の育成を図る。